

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成25年9月5日 (2013.9.5)

【公表番号】特表2012-533566(P2012-533566A)

【公表日】平成24年12月27日 (2012.12.27)

【年通号数】公開・登録公報2012-055

【出願番号】特願2012-520814(P2012-520814)

【国際特許分類】

A 6 1 K 31/40 (2006.01)

A 6 1 K 45/00 (2006.01)

A 6 1 K 31/4439 (2006.01)

A 6 1 K 31/4545 (2006.01)

A 6 1 K 31/4535 (2006.01)

A 6 1 K 31/4709 (2006.01)

A 6 1 K 31/4035 (2006.01)

A 6 1 K 31/55 (2006.01)

A 6 1 K 31/27 (2006.01)

A 6 1 P 25/28 (2006.01)

A 6 1 P 25/18 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

【 F I 】

A 6 1 K 31/40

A 6 1 K 45/00

A 6 1 K 31/4439

A 6 1 K 31/4545

A 6 1 K 31/4535

A 6 1 K 31/4709

A 6 1 K 31/4035

A 6 1 K 31/55

A 6 1 K 31/27

A 6 1 P 25/28

A 6 1 P 25/18

A 6 1 P 43/00 1 2 1

【手続補正書】

【提出日】平成25年7月16日 (2013.7.16)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

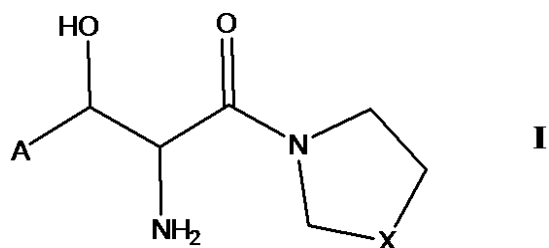
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

薬学的に効果的なコリンエステラーゼ阻害剤、および式 I :

【化 1】



(式中、Xは、 CH_2 または $\text{CH}_2 - \text{CH}_2$ であり、

Aは、アリールであるか、またはN、S、およびOからなる群から選択される0個、1個、2個、もしくは3個のヘテロ原子を有するヘテロアリールであり、

Aは、それぞれ0個から8個の炭素原子、0個から3個の酸素原子、0個から3個のハロゲン原子、0個から2個の窒素原子、0個から2個の硫黄原子、および0個から24個の水素原子を有する0個、1個、2個、または3個の置換基を有する)

の化合物を含む、薬学的組成物。

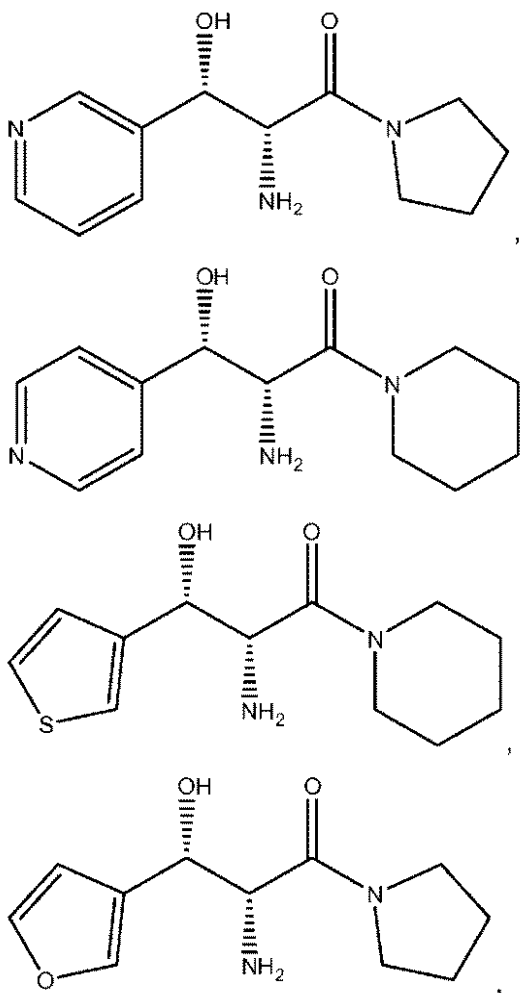
【請求項 2】

Aは、ピリジニル、チエニル、フリル、キノリニル、メチルフェニル、およびビフェニルからなる群から選択される、請求項 1 に記載の薬学的組成物。

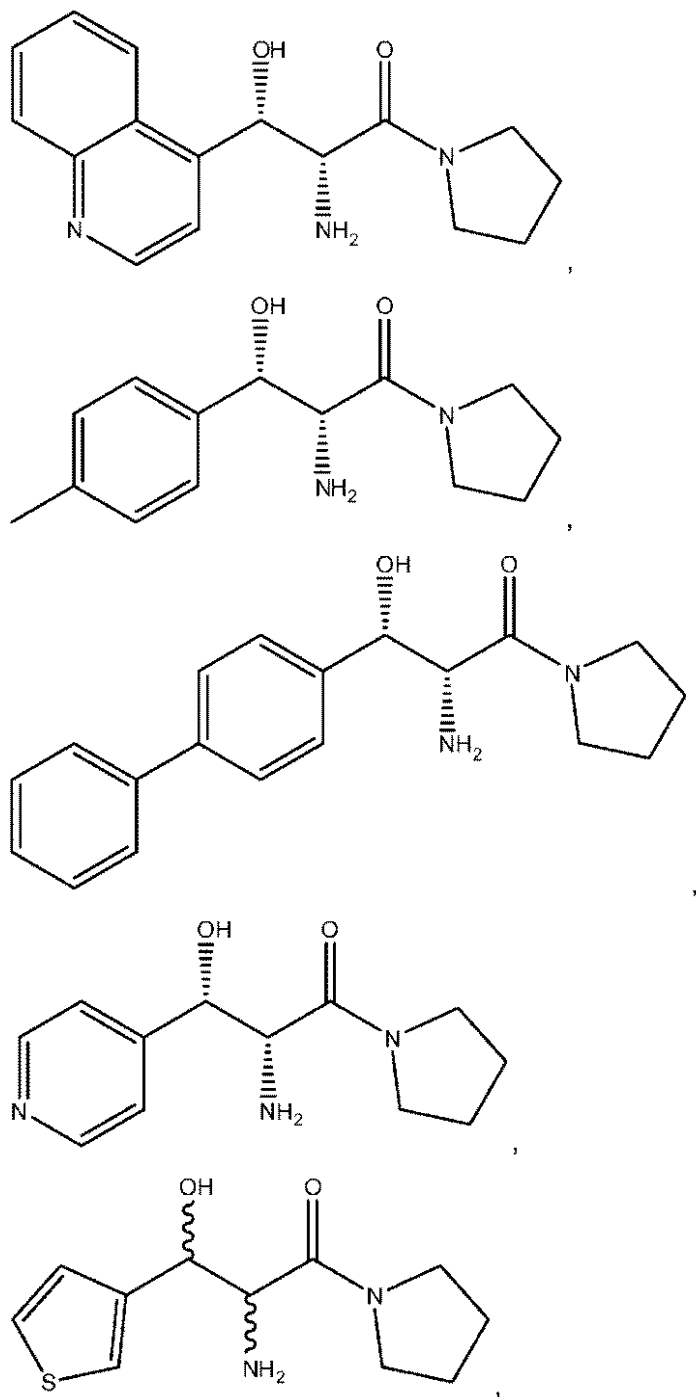
【請求項 3】

前記式 I の化合物は、

【化 2】



【化 3】



ならびにその鏡像異性体および薬学的に許容される塩からなる群から選択される、請求項 1 に記載の薬学的組成物。

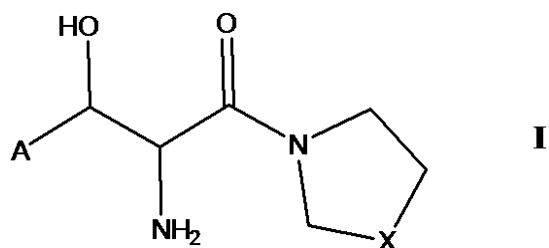
【請求項 4】

前記コリンエステラーゼ阻害剤は、ドネペジル、ガランタミン、およびリバスチグミンからなる群から選択される、請求項 1 ～ 3 のいずれかに記載の薬学的組成物。

【請求項 5】

認識障害を処置するための薬学的組成物であって、薬学的に効果的なコリンエステラーゼ阻害剤、および式 I :

【化 4】



(式中、Xは、 CH_2 または $\text{CH}_2 - \text{CH}_2$ であり、

Aは、アリールであるか、またはN、S、およびOからなる群から選択される0個、1個、2個、もしくは3個のヘテロ原子を有するヘテロアリールであり、

Aは、それぞれ0個から8個の炭素原子、0個から3個の酸素原子、0個から3個のハロゲン原子、0個から2個の窒素原子、0個から2個の硫黄原子、および0個から24個の水素原子を有する0個、1個、2個、または3個の置換基を有する)

の化合物を含む、薬学的組成物。

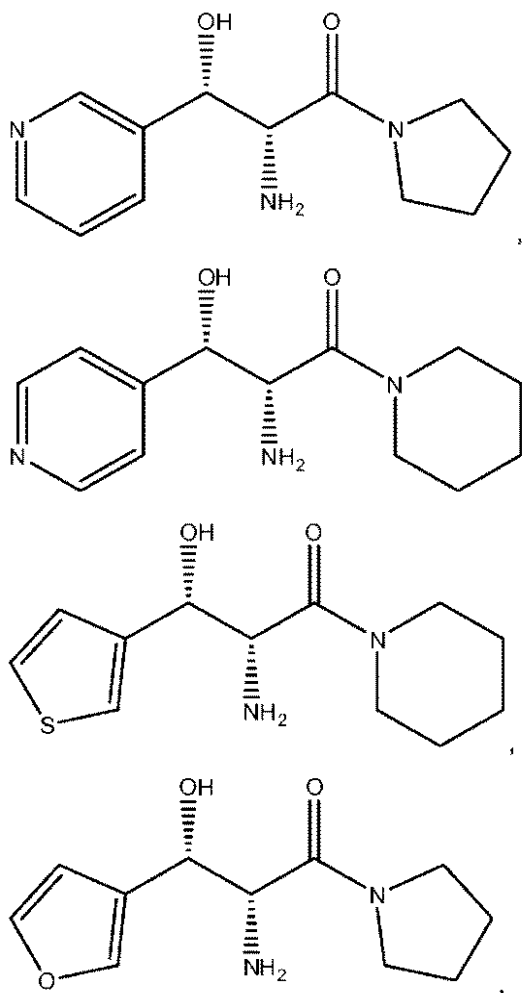
【請求項 6】

Aは、ピリジニル、チエニル、フリル、キノリニル、メチルフェニル、およびビフェニルからなる群から選択される、請求項5に記載の薬学的組成物。

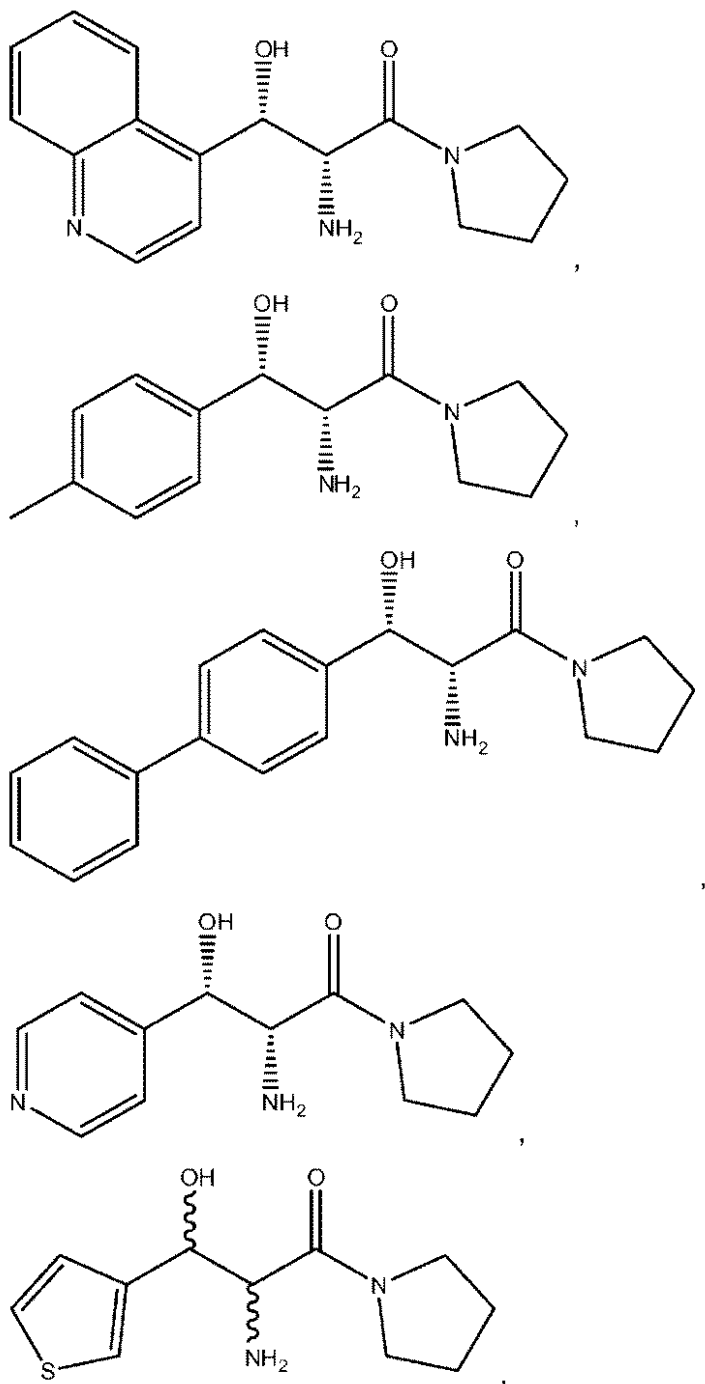
【請求項 7】

前記式 I の化合物は、

【化 5】



【化 6】



ならびにその鏡像異性体および薬学的に許容される塩からなる群から選択される、請求項 5 に記載の薬学的組成物。

【請求項 8】

前記コリンエステラーゼ阻害剤は、ドネペジル、ガランタミン、およびリバスチグミンからなる群から選択される、請求項 5 ～ 7 のいずれかに記載の薬学的組成物。

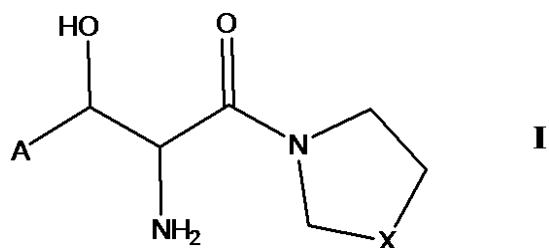
【請求項 9】

前記認識障害は、失認症、健忘症、失語症、失行症、幻覚症状、認知症および学習障害からなる群から選択される、請求項 5 ～ 8 のいずれかに記載の薬学的組成物。

【請求項 10】

認識障害を処置するための薬学的組成物であって、薬学的に効果的なコリンエステラーゼ阻害剤を含む第 1 の組成物と、式 I :

【化 7】



(式中、Xは、 CH_2 または $\text{CH}_2 - \text{CH}_2$ であり、

Aは、アリールであるか、またはN、S、およびOからなる群から選択される0個、1個、2個、もしくは3個のヘテロ原子を有するヘテロアリールであり、

Aは、それぞれ0個から8個の炭素原子、0個から3個の酸素原子、0個から3個のハロゲン原子、0個から2個の窒素原子、0個から2個の硫黄原子、および0個から24個の水素原子を有する0個、1個、2個、または3個の置換基を有する)

の化合物を含む第2の組成物とからなる薬学的組成物。

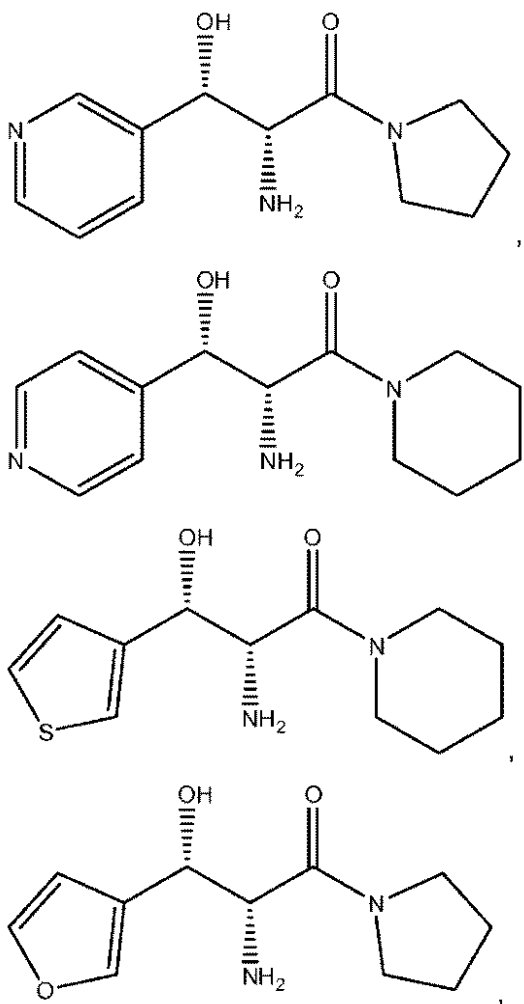
【請求項 1 1】

Aは、ピリジニル、チエニル、フリル、キノリニル、メチルフェニル、およびビフェニルからなる群から選択される、請求項 1 0 に記載の薬学的組成物。

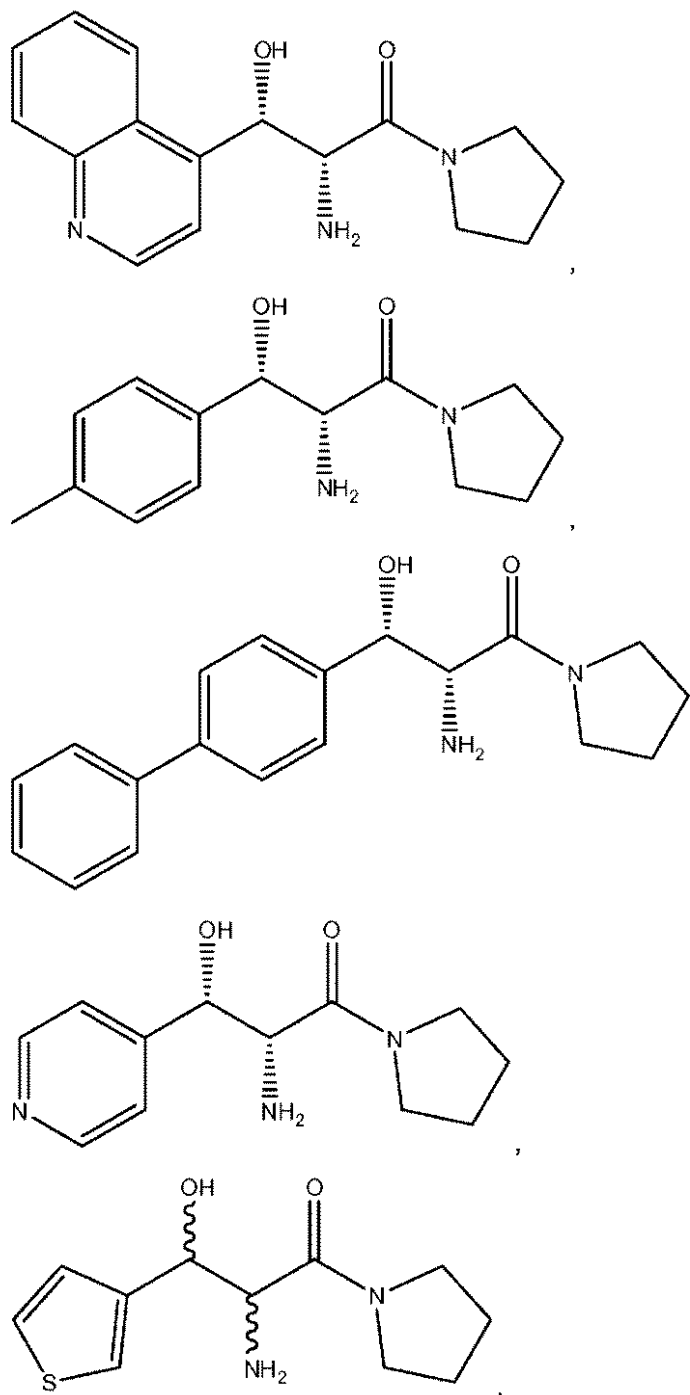
【請求項 1 2】

前記式 I の化合物は、

【化 8】



【化 9】



ならびにその鏡像異性体および薬学的に許容される塩からなる群から選択される、請求項 10 に記載の薬学的組成物。

【請求項 13】

前記コリンエステラーゼ阻害剤は、ドネペジル、ガランタミン、およびリバスチグミンからなる群から選択される、請求項 10 ~ 12 のいずれかに記載の薬学的組成物。

【請求項 14】

前記認識障害は、失認症、健忘症、失語症、失行症、幻覚症状、認知症および学習障害からなる群から選択される、請求項 10 ~ 13 のいずれかに記載の薬学的組成物。

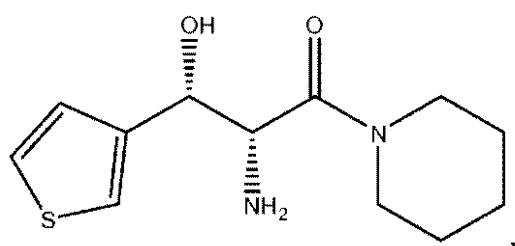
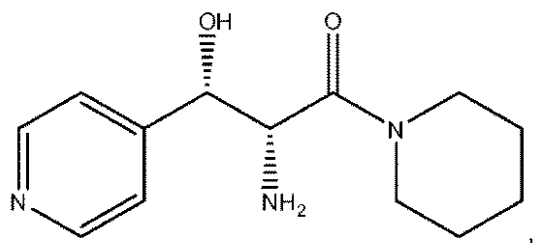
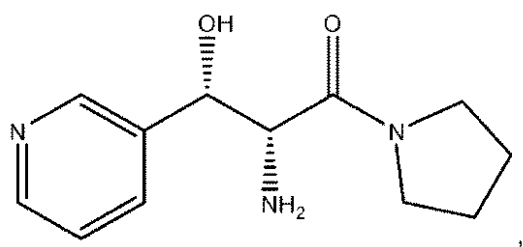
【請求項 15】

認知症を処置するための薬学的組成物であって、

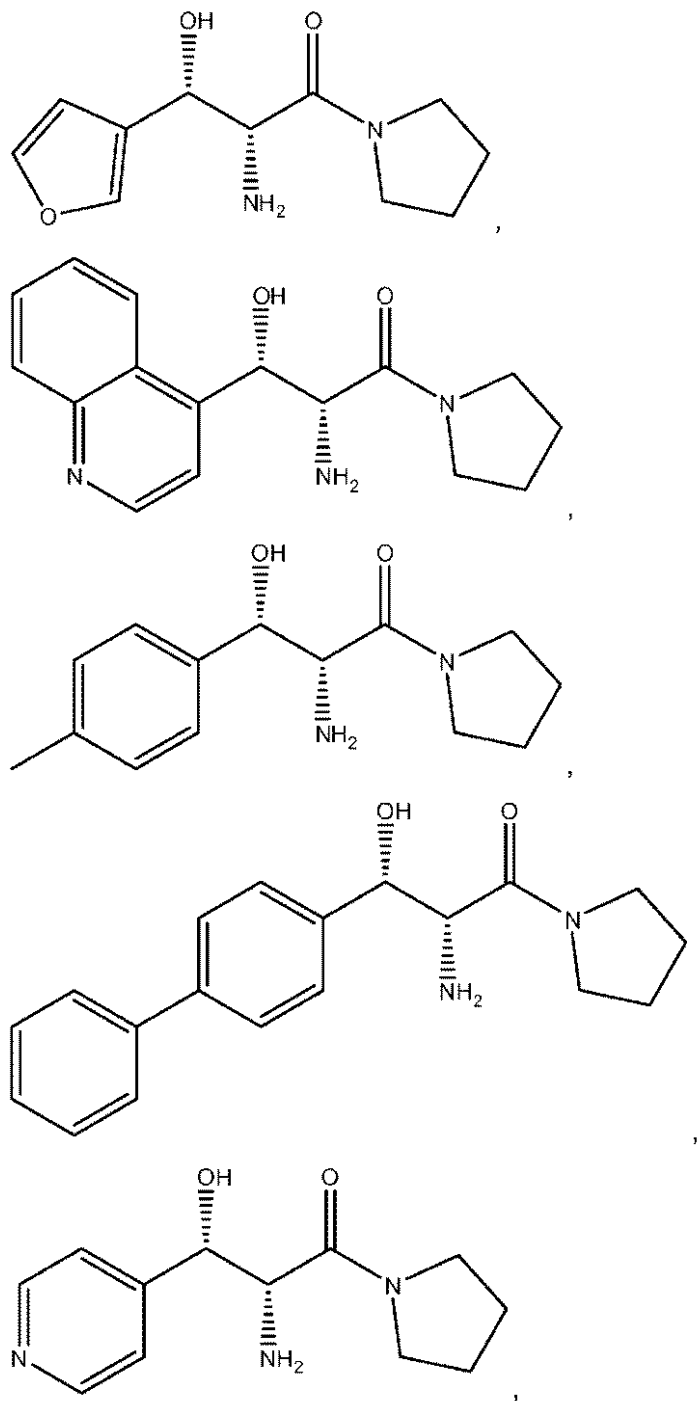
a) ドネペジル、ガランタミン、およびリバスチグミンからなる群から選択される、薬学的に効果的なコリンエステラーゼ阻害剤と、

b)

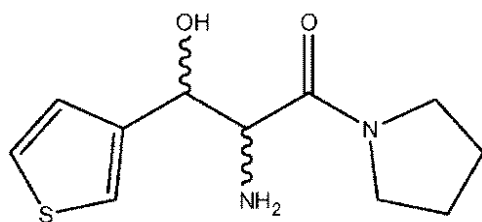
【化 1 0】



【化 1 1】



【化 1 2】



およびその薬学的に許容される塩からなる群から選択される化合物とを含む薬学的組成物